

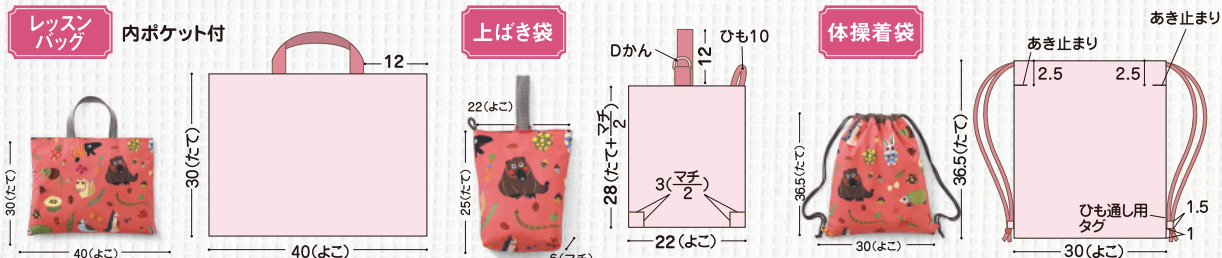


できあがりサイズ

幼稚園や小学校からサイズ指定がある場合は指定サイズで、
ない場合は下記サイズを目安に作ってください。

内袋あり レッスンバッグ・上ばき袋・体操着袋

できあがりサイズ 【サイズ変更の仕方】記載例:28(たて+マチ/2)の()内の式で計算・変更してください。 単位:cm



内袋なし お弁当袋・コップ袋・ティッシュケース



きれいに仕上げるために

ポイントアドバイス

POINTADVICE

こまめにアイロンをかけましょう。

ぬいしろを倒したり、割ったり、こまめにアイロンをかけることがきれいに仕上げるコツです。「ぬいしろを割る」とは生地を縫い合わせたあと、ぬいしろを左右に倒すことです。



おすすめ (アイロン定規)

折り目つけにはアイロン定規が便利です。(写真は三つ折りの仕方です。)



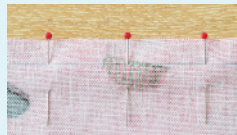
定規の目盛りを参考に3cm折って、アイロンをかけます。

端を1cm折り込んでアイロンをかけます。

折り目がついた状態です。

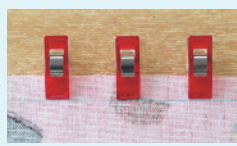
短い距離でも必ず待針でとめましょう。

待針でとめないと生地がずれてしまうことがあります。必ずとめましょう。



- 待針のとめ方 ●
ぬい線に対して垂直に刺します。

おすすめ (仮止めクリップ)
はさんでとめるだけの安全・安心なクリップです。



目打とリッパーは強い味方です。

普段あまり見慣れない道具ですが、ソーイングには重要な役割を果たします。

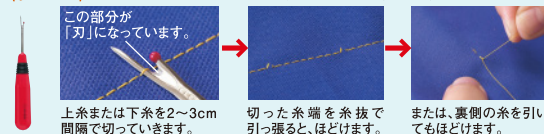
〈目打〉



厚い部分の生地送りに

袋物の角出しに

〈リッパー〉間違っただけに縫ったときに生地を傷つけることなく、ほどこくことができます。



この部分が「刃」になっています。

上糸または下糸を2~3cm間隔で切っていきます。

切った糸端を糸手で引っ張ると、ほどこけます。

または、裏側の糸を引てもほどこけます。

生地の端はジグザグ縫い

(ジグザグミシン)でほつれ止めをしましょう。

生地端は切ったままだと作業中に織り糸が抜けてしまうため、1cmあったぬいしろが半分になった...ということにならないようにジグザグ縫いをしてほつれ止めをしましょう。

- ジグザグ縫いのマーク例 (ミシンによって異なります)

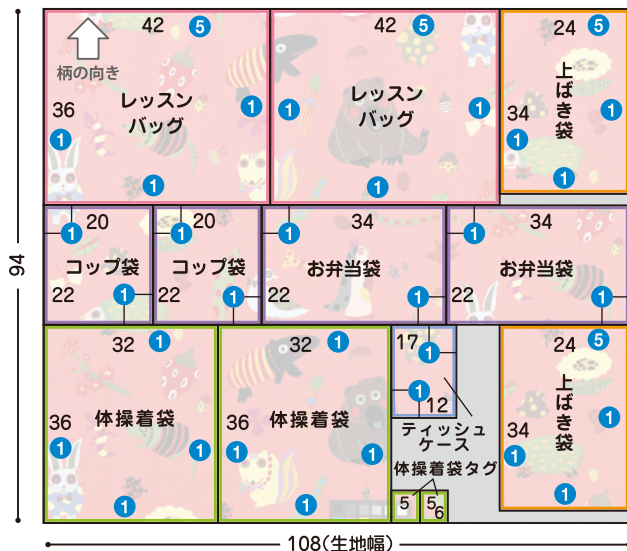


振り幅を大きく設定し、針先が右に振れたときに生地の端にくるようにセットします。

裁ち合わせ図

(ぬいしろを含んだサイズです。)

表地 上下に向きのある柄の生地での裁ち合わせ図です。



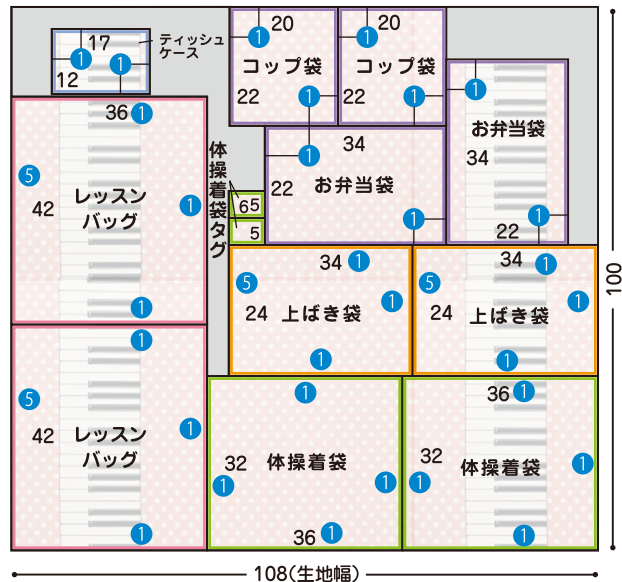
裏地 作品には無地の生地を使用していますので、表地とは異なった裁ち合わせ図になっています。



【ピアノ柄の裁ち合わせ図】

※裏地の裁ち合わせ図は共通です。

表地 両側にボーダー柄のある生地用の裁ち合わせ図です。



裁ち合わせ図は作品の設計図です。間違えると、作品が出来た時に「あれ??！」という結果になります。正確にしるしを付けてください。

単位:cm ●の中の数字はぬいしろ幅(cm)
例:●1 = 1cm

※片方の布耳には製造者表記が印刷されていますので、ご確認のうえその部分をカットしてお使いください。

□の部分はいりません。

ミシンを選ぶなら ブラザー!

『せっかくの作品だからカンタンに、そして満足のいく仕上がりで作ってあげたい!』そんなママたちの声に応えるのがブラザーのミシンです。そして、お子様のために作品を作るなら断然刺しゅうミシンがオススメ!うれしい機能の一部をご紹介します。

縫う前の準備もカンタン!

ブラザーならではの「スーパー糸通し」で面倒だった糸通しもラクチン。下糸もボビンを設定するだけでOK!

縫っている時もスイスイ!

刺しゅうも楽しいだけでなく、実用縫いも「7枚送り歯」でどんな生地でもスイスイ進みます。

世界で一つの作品を!

刺しゅうミシンなら名前やワンポイントの模様を入れるのも簡単!世界で一つの入園入学グッズを作ってください。



オープン価格